

平成 29 年 度

歳入歳出決算補充説明

平成 30 年 11 月

子 ども ・ 福 祉 部

平成29年度歳入歳出決算補充説明

	頁 数
1 一般会計	
(1) 歳入	1
(2) 歳出	8
2 特別会計	
(1) 三重県母子及び父子並びに寡婦福祉資金貸付事業特別会計	16
(2) 三重県立小児 ^{こども} 心療センターあすなろ学園事業特別会計	17
(3) 三重県立子ども心身発達医療センター事業特別会計	19

平成29年度歳入歳出決算補充説明

子ども・福祉部の所管する平成29年度歳入歳出決算につきまして、お手元に配付いたしました「平成29年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」により、ご説明申し上げます。

1 一般会計

(1) 歳入

まず、一般会計の歳入についてご説明申し上げます。

子ども・福祉部の歳入合計といたしましては、

予算現額	84億4,600万4,380円
調定額	84億5,975万9,105円
収入済額	82億5,333万1,989円
収入未済額	1億9,402万7,920円
不納欠損額	1,239万9,196円

以下、順次各項目についてご説明申し上げます。

第7款 分担金及び負担金

第2項 負担金

第1目 民生費負担金（40頁）のうち当部関係分は、

予算現額	6,235万1,000円
調定額	6,421万4,657円
収入済額	5,296万1,281円
収入未済額	1,125万3,376円

収入済額の主な内訳は次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
心身障がい者扶養共済事業負担金	2,056万7,200円
児童措置費負担金	1,168万3,412円
草の実りハビリテーションセンター保護費負担金	1,136万3,289円

収入未済額の主なものは、児童措置費負担金864万5,766円、障がい児入所施設措置費保護者等負担金208万1,010円などです。

第8款 使用料及び手数料

第1項 使用料

第1目 総務使用料（48頁）のうち当部関係分は、

予算現額	0円
調定額	6万4,500円
収入済額	6万4,500円

これは、三重県立子ども心身発達医療センター敷地に係る土地使用料を収入したものです。

第2目 民生使用料

予算現額	2,171万5,000円
調定額	2,247万2,987円
収入済額	2,247万2,987円

これは、草の実りハビリテーションセンター使用料を収入したものです。

第2項 手数料

第2目 民生手数料（54頁）のうち当部関係分は、

予算現額	439万1,000円
調定額	419万4,200円
収入済額	419万4,200円

これは、保育士資格登録手数料を収入したものです。

第3目 衛生手数料（56頁）のうち当部関係分は、

予算現額	3万2,000円
調定額	1万8,400円
収入済額	1万8,400円

これは、受胎調節実地指導員指定証交付手数料を収入したものです。

第9款 国庫支出金

第1項 国庫負担金

第2目 民生費負担金（70頁）のうち当部関係分は、

予算現額	40億2,578万円
調定額	40億7,903万386円
収入済額	40億7,903万386円

収入済額の主な内訳は次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
児童保護費負担金	18億 123万4,359円
生活保護費負担金	15億1,811万1,642円
障がい児施設措置費負担金	4億 554万6,348円
児童扶養手当負担金	2億2,547万9,396円

第3目 衛生費負担金のうち当部関係分は、

予 算 現 額	6,000 円
調 定 額	4,200 円
収 入 済 額	4,200 円

これは、未熟児養育費負担金を収入したものです。

第2項 国庫補助金

第2目 民生費補助金（80頁）のうち当部関係分は、

予 算 現 額	12 億 8,968 万円
調 定 額	11 億 5,769 万 3,109 円
収 入 済 額	11 億 5,769 万 3,109 円

収入済額の主な内訳は次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
次世代育成支援対策施設整備交付金	3億1,222万9,000円
生活困窮者就労準備支援事業費等補助金	1億1,740万9,000円
社会福祉施設整備費補助金	9,220万6,000円
地域生活支援事業費等補助金	9,069万1,000円
地域少子化対策重点推進交付金	9,028万4,241円

第3目 衛生費補助金（84頁）のうち当部関係分は、

予 算 現 額	3 億 1,346 万円
調 定 額	3 億 4,898 万 9,000 円
収 入 済 額	3 億 4,898 万 9,000 円

収入済額の内訳は次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
母子保健衛生費補助金	2億3,624万1,000円
電源立地地域対策交付金	1億1,274万8,000円

第9目 教育費補助金（100頁）のうち当部関係分は、

予算現額 5億 44万 2,000円
 調定額 4億 6,772万 3,000円
 収入済額 4億 6,772万 3,000円

収入済額の主な内訳は次のとおりです。

科 目	収入済額
私立高等学校等経常費助成費補助金	2億9,094万9,000円
認定こども園施設整備交付金	1億6,944万1,000円

第11目 災害復旧費補助金（104頁）のうち当部関係分は、

予算現額 233万 7,000円
 調定額 153万 4,000円
 収入済額 153万 4,000円

これは、社会福祉施設等災害復旧費補助金を収入したものです。

第3項 委託金

第2目 民生費委託金（106頁）

予算現額 6,310万 5,000円
 調定額 6,231万 9,758円
 収入済額 6,231万 9,758円

収入済額の主な内訳は次のとおりです。

科 目	収入済額
指導監査委託金	2,624万6,000円
遺族及び留守家族等援護事務委託金	1,714万9,000円
特別児童扶養手当法施行事務委託金	854万5,450円
社会福祉統計事務委託金	648万4,888円

第3目 衛生費委託金（108頁）のうち当部関係分は、

予算現額 1,007万 8,000円
 調定額 1,133万 7,427円
 収入済額 1,133万 7,427円

これは、衛生統計委託金を収入したものです。

第10款 財産収入

第1項 財産運用収入

第1目 財産貸付収入（116頁）のうち当部関係分は、

予算現額	370万円
調定額	332万3,862円
収入済額	332万3,862円

これは、三重県社会福祉会館の利用料などを収入したものです。

第2目 利子及び配当金のうち当部関係分は、

予算現額	65万4,000円
調定額	65万2,628円
収入済額	65万2,628円

これは、三重県安心こども基金の運用に伴う利子収入です。

第12款 繰入金

第2項 基金繰入金

第1目 基金繰入金（124頁）のうち当部関係分は、

予算現額	9億961万1,000円
調定額	9億369万3,037円
収入済額	9億369万3,037円

収入済額の主な内訳は次のとおりです。

科 目	収入済額
安心こども基金繰入金	3億1,292万3,000円
福祉基金繰入金	2億8,384万8,347円
地域医療再生臨時特例基金繰入金	2億7,559万239円

第13款 繰越金

第1項 繰越金

第1目 繰越金（126頁）のうち当部関係分は、

予算現額	1億5,671万3,380円
調定額	1億5,671万3,380円
収入済額	1億5,671万3,380円

これは、平成28年度からの繰越事業に充当したものです。

第14款 諸収入

第1項 延滞金、加算金及び過料等

第1目 延滞金（128頁）のうち当部関係分は、

予算現額	0円
調定額	3,200円
収入済額	3,200円

これは、生活保護法第78条返還に係る延滞金です。

第5項 受託事業収入

第8目 民生関係受託事業収入（138頁）

予算現額	0万円
調定額	8万円
収入済額	8万円

これは、社会福祉援助技術現場実習受託事業収入を収入したものです。

第8項 雑入

第2目 雑入のうち当部関係分は、

予算現額	4億7,090万1,000円
調定額	4億9,876万1,679円
収入済額	4億9,038万9,221円
収入未済額	837万2,458円

収入済額の内訳は次のとおりです。

科 目	収入済額
雑入	2億9,879万9,221円
心身障がい者扶養共済事業年金収入	1億9,159万円

収入未済額は、生活保護費返還金754万3,258円、児童扶養手当返還金82万9,200円です。

第3目 過年度収入（142頁）のうち当部関係分は、

予算現額	104万8,000円
調定額	1億9,620万1,821円
収入済額	940万539円
収入未済額	1億7,440万2,086円
不納欠損額	1,239万9,196円

不納欠損額につきましては、児童措置費負担金、生活保護費返還金、障がい児入所施設措置費保護者等負担金などで、地方自治法および民法における債権消滅時効の規定などに基づき処理したものです。

また、収入未済額の主なものは、過年度における生活保護費返還金 1 億 453 万 2,329 円、児童措置費負担金 3,188 万 2,790 円、障害者住宅整備資金貸付金元利収入 1,124 万 2,963 円などによるものです。

第 5 目 弁償金のうち当部関係分は、

予算現額	0 円
調定額	3 万 3,874 円
収入済額	3 万 3,874 円

これは、公用車の交通事故示談金を収入したことなどによるものです。

第 15 款 県債

第 1 項 県債

第 2 目 民生債（146 頁）のうち当部関係分は、

予算現額	6 億 900 万円
調定額	4 億 8,000 万円
収入済額	4 億 8,000 万円

収入済額の主な内訳は次のとおりです。

科 目	収入済額
療養環境整備事業費充当	2億3,500万円
家庭的養護推進事業費充当	1億4,900万円

第 9 目 災害復旧債（162 頁）のうち当部関係分は、

予算現額	100 万円
調定額	70 万円
収入済額	70 万円

これは、社会福祉施設等災害復旧対策事業に充当したものです。

以上が一般会計の歳入決算の概要です。

(2) 歳出

引き続き、一般会計の歳出決算についてご説明申し上げます。

子ども・福祉部の歳出合計といたしましては、

予 算 現 額	379 億 5,361 万 6,617 円
支 出 済 額	372 億 7,420 万 3,442 円
翌年度繰越額	2,604 万 5,000 円
不 用 額	6 億 5,336 万 8,175 円

以下、順次各項目についてご説明申し上げます。

第3款 民生費（240頁）のうち当部関係分は、

予 算 現 額	343 億 9,245 万 8,617 円
支 出 済 額	338 億 3,670 万 5,925 円
翌年度繰越額	1,878 万 1,000 円
不 用 額	5 億 3,697 万 1,692 円

第1項 社会福祉費

第1目 社会福祉総務費のうち当部関係分は、

予 算 現 額	44 億 7,153 万 9,237 円
支 出 済 額	42 億 5,579 万 2,494 円
不 用 額	2 億 1,574 万 6,743 円

支出済額の主な内訳は次のとおりです。

事 業 名	支 出 済 額	説 明
給与費	28億3,234万8,366円	子ども・福祉部職員の給与費
療育環境整備事業費	5億7,003万6,086円	三重県立子ども心身発達医療センター整備事業費
民間福祉団体等協働事業費	3億 975万2,437円	民生委員・児童委員の活動や研修および県社会福祉協議会への支援などに要した経費
福祉サービス利用支援事業費	1億8,228万6,000円	判断能力に不安のある認知症高齢者や知的障がい者等が地域で自立した生活ができるよう日常生活の支援などに要した経費
少子化対策推進事業費	1億1,230万2,185円	男性の育児参画、企業等におけるイクボスの推進、結婚に関する意識調査など少子化対策に要した経費

不用額の主なものは、市町少子化対策交付金の実績減1億5,075万5,527円、三重県立子ども心身発達医療センター整備事業費の実績減1,679万1,914円、

みえの出逢い支援事業費の実績減 1,332万8,438円および人件費の実績減 1,323万8,634円などです。

第2目 障がい者福祉費（242頁）のうち当部関係分は、

予 算 現 額	92億 5,747万 5,000円
支 出 済 額	92億 4,229万 4,592円
不 用 額	1,518万 408円

支出済額の主な内訳は次のとおりです。

事 業 名	支 出 済 額	説 明
障害者介護給付事業費	79億3,514万6,770円	障害者総合支援法に基づく各種障害福祉サービスの提供などに要した経費
障がい者地域生活支援事業費	4億7,298万4,050円	障害者手帳の交付、相談支援体制の充実、障害福祉サービスに従事する人材の育成などに要した経費
障がい者所得保障事業費	4億1,933万8,200円	心身障がい者の生活の安定を図るため、特別障害者手当の給付や年金給付共済事業に要した経費
障がい者社会活動推進事業費	1億9,903万3,149円	身体障害者福祉法などに基づき設置された施設の運営、障がい者の権利擁護の推進、2021年に開催する三重とこわか大会に向けた選手や競技団体の育成などに要した経費
地域生活移行推進事業費	1億7,855万5,724円	障がい者が地域において自立した生活を送ることができるよう、居住の場や日中活動の場の整備促進などに要した経費

不用額の主なものは、障がい者就労支援事業費の実績減 310万8,180円、障がい者の地域移行受け皿整備事業費の実績減 245万727円および心身障害者扶養共済事業費の実績減 175万310円などです。

第4目 遺族等援護費 (246頁)

予 算 現 額	3,607万円
支 出 済 額	3,290万9,515円
不 用 額	316万 485円

支出済額の内訳は次のとおりです。

事 業 名	支 出 済 額	説 明
戦傷病者・戦没者遺族援護事業費	3,290万9,515円	戦没者追悼式の挙行、戦没者遺族等に対する援護事業などに要した経費

不用額の主なものは、遺族及び留守家族等援護事業費の実績減218万9,842円などです。

第5目 社会福祉施設費 (248頁)

予 算 現 額	3億2,350万5,000円
支 出 済 額	3億1,378万6,914円
翌年度繰越額	346万1,000円
不 用 額	625万7,086円

支出済額の内訳は次のとおりです。

事 業 名	支 出 済 額	説 明
県立障がい児(者)福祉施設等事業費	1億9,611万6,294円	障害者総合支援法、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、児童福祉法に基づき設置された施設の運営に要した経費
女性相談所費	9,616万4,288円	女性相談所の管理運営および一時保護に要した経費
配偶者暴力相談支援センター事業費	2,150万6,332円	市町や民間団体と連携した被害者相談・保護・自立支援等や、相談員や関係者の資質向上のための研修会、DV防止の街頭啓発に要した経費

翌年度繰越額は、県立障がい児(者)福祉施設等事業費で、全国的に同種工事の需要が増加したことにより、点検・修繕に不測の日数を要したことからやむを得ず繰り越したものです。

不用額の主なものは、女性相談事業費の実績減334万712円やDV対策基本計画推進事業費の実績減170万2,668円などです。

第7目 子ども対策費 (250 頁)

予 算 現 額	3,180 万円
支 出 済 額	2,826 万 8,742 円
不 用 額	353 万 1,258 円

支出済額の内訳は次のとおりです。

事 業 名	支 出 済 額	説 明
子ども・若者対策事業費	2,826万8,742円	青少年総合支援専門員の配置などに要した経費

不用額は、子ども・若者対策事業費の実績減 353 万 1,258 円です。

第2項 児童福祉費

第1目 児童福祉総務費 (252 頁) のうち当部関係分は、

予 算 現 額	113 億 5,791 万 380 円
支 出 済 額	112 億 1,492 万 6,143 円
翌年度繰越額	1,532 万円
不 用 額	1 億 2,766 万 4,237 円

支出済額の主な内訳は次のとおりです。

事 業 名	支 出 済 額	説 明
保育所事業費	46億2,606万8,483円	子ども・子育て支援法に基づく教育・保育施設の運営助成に要した経費
児童手当事業費	43億5,531万8,000円	児童手当の支給に要した経費
特別保育事業費	13億7,298万 73円	低年齢児保育等を実施する保育所、地域子育て支援拠点、病児保育施設および放課後児童クラブの運営などの助成に要した経費

翌年度繰越額は、保育所事業費で、補助事業者において、工期中の保育場所の選定に不測の日数を要したことからやむを得ず繰り越したものです。

不用額の主なもの、児童手当事業費の実績減 1 億 1,122 万 4,000 円などです。

第2目 児童措置費 (254 頁)

予 算 現 額	51 億 4,374 万円
支 出 済 額	51 億 2,171 万 9,666 円
不 用 額	2,202 万 334 円

支出済額の内訳は次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
児童措置費	32億5,231万502円	要保護児童の児童福祉施設への入所措置に要した経費
障がい児福祉費	18億6,940万9,164円	心身障がい児の児童福祉施設への入所措置に要した経費

不用額の主なものは、児童入所施設措置費の実績減1,815万8,952円などです。

第3目 母子福祉費のうち当部関係分は、

予算現額	8,180万8,000円
支出済額	7,636万2,751円
不用額	544万5,249円

支出済額の内訳は次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
ひとり親家庭等対策費	6,384万1,262円	「三重県子どもの貧困対策計画」に基づき、市町や関係機関と連携して教育の支援および生活の支援などを行うために要した経費
母子・父子自立支援員設置事業費	1,252万1,489円	母子・父子自立支援員の配置に要した経費

不用額の主なものは、ひとり親家庭等日常生活支援委託事業費の実績減254万7,000円や母子・父子自立支援員設置事業費の実績減119万5,511円などです。

第4目 児童福祉施設費（256頁）

予算現額	8億9,080万6,000円
支出済額	8億5,014万2,164円
不用額	4,066万3,836円

支出済額の内訳は次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
児童虐待防止総合対策事業費	5億7,639万2,707円	相談体制の充実や関係機関との連携強化、要保護児童の家族再生支援の強化など総合的な児童虐待防止対策事業に要した経費
児童相談センター費	2億2,415万3,678円	児童相談所および一時保護所の管理運営等に要した経費
国児学園費	4,959万5,779円	国児学園の管理運営に要した経費

不用額の主なものは、家庭的養護推進事業費の実績減 2,597万9,438円や国児学園運営費の実績減 796万3,221円などです。

第3項 生活保護費

第1目 生活保護総務費 (258頁)

予 算 現 額	2,684万 1,000円
支 出 済 額	2,212万 4,379円
不 用 額	471万 6,621円

支出済額の主な内訳は次のとおりです。

事 業 名	支 出 済 額	説 明
生活保護適正化推進事業費	1,587万9,926円	生活保護法の適正実施のために必要な各種調査、就労支援などに要した経費
監査指導費	255万 826円	社会福祉法人等に対する指導・監査等に要した経費
指導調査研修費	244万6,867円	生活保護法の適正実施のための法律・制度の説明会などに要した経費

不用額の主なものは、生活保護システム事業費の実績減 330万103円や生活保護適正化推進事業費の実績減 67万6,211円などです。

第2目 扶助費 (260頁)

予 算 現 額	27億 7,096万 4,000円
支 出 済 額	26億 7,837万 8,565円
不 用 額	9,258万 5,435円

支出済額の内訳は次のとおりです。

事 業 名	支 出 済 額	説 明
保護費	26億7,837万8,565円	生活保護法に基づいて生活扶助、住宅扶助、教育扶助、医療扶助、葬祭扶助等の保護の実施に要した経費

不用額の主なものは、生活保護扶助費の実績減 4,602万7,788円や生活保護法第73条関係負担金の実績減 4,478万6,875円などです。

第4款 衛生費（264頁）のうち当部関係分は、

予 算 現 額	16億 7,840万 1,000円
支 出 済 額	16億 1,886万 2,920円
不 用 額	5,953万 8,080円

第1項 公衆衛生費

第1目 公衆衛生総務費のうち当部関係分は、

予 算 現 額	16億 7,645万円
支 出 済 額	16億 1,743万 5,318円
不 用 額	5,901万 4,682円

支出済額の主な内訳は次のとおりです。

事 業 名	支 出 済 額	説 明
子ども心身発達医療センター諸費	9億7,861万8,938円	子ども心身発達医療センターへの繰出に要した経費
母子保健対策費	5億5,189万1,367円	先天性代謝異常等の検査、特定不妊治療に係る費用の助成などに要した経費
小児心療センターあすなろ学園諸費	4,390万8,533円	小児心療センターあすなろ学園への繰出に要した経費
未熟児等援護費	2,377万2,931円	未熟児に対する医療の給付に要した経費

不用額の主なものは、子ども心身発達医療センター諸費の実績減4,924万8,062円や未熟児等援護費の実績減331万6,069円などです。

第3項 保健所費

第1目 保健所費（276頁）のうち当部関係分は、

予 算 現 額	195万 1,000円
支 出 済 額	142万 7,602円
不 用 額	52万 3,398円

支出済額の内訳は次のとおりです。

事 業 名	支 出 済 額	説 明
保健所関係母子対策費	142万7,602円	「健やか親子いきいきプランみえ（第2次）」に基づく、妊娠期からの切れ目のない母子保健対策に要した経費

不用額は、健やか親子支援事業費の実績減52万3,398円です。

第10款 教育費

第9項 私立幼稚園費

第1目 私立幼稚園費 (460頁)

予 算 現 額	18億 7,925万 3,000円
支 出 済 額	18億 1,628万 9,597円
翌年度繰越額	726万 4,000円
不 用 額	5,569万 9,403円

支出済額の内訳は次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
私立幼稚園振興費	18億1,628万9,597円	私立幼稚園等振興補助金、私立幼稚園等心身障がい児助成事業補助金および認定こども園施設整備交付金等に要した経費

翌年度繰越額は、私立幼稚園振興費で、補助事業者において、入札の不調により不測の日数を要したことからやむを得ず繰り越したものです。

不用額の主なものは、認定こども園等整備事業費の実績減3,454万8,291円や私立幼稚園振興等補助金の実績減1,213万9,668円などです。

第11款 災害復旧費

第5項 社会福祉施設等災害復旧費

第1目 社会福祉施設等災害復旧費 (476頁)のうち当部関係分は、

予 算 現 額	350万 4,000円
支 出 済 額	234万 5,000円
不 用 額	115万 9,000円

支出済額の内訳は次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
社会福祉施設等災害復旧対策事業費	234万5,000円	台風21号による浸水により被害を受けた認定こども園の復旧支援に要した経費

不用額は、社会福祉施設等災害復旧対策事業費の実績減115万9,000円です。

以上で一般会計の歳入歳出決算の概要を終わります。

2 特別会計

引き続き特別会計についてご説明申し上げます。

(1) 三重県母子及び父子並びに寡婦福祉資金貸付事業特別会計

502 頁の三重県母子及び父子並びに寡婦福祉資金貸付事業特別会計は、母子及び父子並びに寡婦福祉法に基づいて県内の母子家庭及び父子家庭並びに寡婦の自立促進を図るために、修学資金、生活資金などの各種資金について貸付を行うものです。

歳入といたしまして、

第2款 諸収入

予算現額	2億 6,303万 2,000円
調定額	6億 7,567万 7,415円
収入済額	2億 9,501万 2,517円
収入未済額	3億 8,066万 4,898円

これは、貸付金元利償還金などを収入したものです。

また、収入未済額は貸付金元利償還金に係るものです。

第5款 繰入金

予算現額	1,100万円
調定額	1,031万 7,432円
収入済額	1,031万 7,432円

これは、一般会計からの繰入金を収入したものです。

第7款 繰越金 (504 頁)

予算現額	1億 3,474万 3,000円
調定額	1億 3,474万 3,450円
収入済額	1億 3,474万 3,450円

これは、前年度からの繰越金です。

これらの歳入合計といたしまして、

予算現額	4億 877万 5,000円
調定額	8億 2,073万 8,297円
収入済額	4億 4,007万 3,399円
収入未済額	3億 8,066万 4,898円

次に、506 頁の歳出につきましては、

予算現額	4億 877万 5,000円
支出済額	2億 5,572万 803円
不用額	1億 5,305万 4,197円

支出済額の内訳は次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
母子福祉資金貸付金	2億2,960万4,551円	母子、父子家庭や寡婦の経済的自立を図るため、児童の修学などの資金を無利子または低利で貸し付けるために要した経費
寡婦福祉資金貸付金	1,055万8,612円	
事務費	1,033万3,853円	
父子福祉資金貸付金	522万3,787円	

不用額の主なものは、貸付金の実績減1億5,111万50円などです。

これにより、実質収支額は508頁のとおり1億8,435万2,596円となり、この額を平成30年度へ繰り越しています。

(2) 三重県立^{こども}小児心療センターあすなろ学園事業特別会計

次に、510頁の三重県立^{こども}小児心療センターあすなろ学園事業特別会計は、児童精神科医療施設および医療型障害児入所施設である県立^{こども}小児心療センターあすなろ学園の運営を行うものです。

歳入といたしまして、

第1款 分担金及び負担金

予算現額	531万 5,000円
調定額	531万 6,604円
収入済額	531万 6,604円

これは、主に措置入院に係る入院料などを収入したものです。

第2款 使用料及び手数料

予算現額	8,829万円
調定額	8,832万 8,591円
収入済額	8,832万 8,591円

これは、入院料および外来診察料などを収入したものです。

第4款 繰入金

予算現額	4,414万7,000円
調定額	4,390万8,533円
収入済額	4,390万8,533円

これは、一般会計からの繰入金を収入したものです。

第5款 諸収入 (512頁)

予算現額	265万6,000円
調定額	533万9,528円
収入済額	277万6,648円
収入未済額	247万1,471円
不納欠損額	9万1,409円

これは、サテライトクリニックにおける診療受託料などを収入したものです。不納欠損額は、過年度のあすなる学園使用料で、地方自治法における債権消滅時効の規定に基づき処理したものです。

また、収入未済額は、過年度のあすなる学園使用料などに係るもので、この債権は、三重県立子ども心身発達医療センター事業特別会計へ承継します。

第10款 繰越金

予算現額	6万2,000円
調定額	6万2,178円
収入済額	6万2,178円

これは、前年度からの繰越金です。

これらの歳入合計といたしまして、

予算現額	1億4,047万円
調定額	1億4,295万5,434円
収入済額	1億4,039万2,554円
収入未済額	247万1,471円
不納欠損額	9万1,409円

次に、514頁の歳出につきましては、

予算現額	1億4,047万円
支出済額	1億4,039万2,554円
不用額	7万7,446円

支出済額の内訳は次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
人件費	1億 392万3,867円	職員給与費等
運営事業費	3,603万7,402円	管理運営費
医療支援事業費	43万1,285円	支援員人件費等

不用額の主なものは、運営事業費の実績減5万5,598円などによるものです。

(3) 三重県立子ども心身発達医療センター事業特別会計

最後に、520頁の三重県立子ども心身発達医療センター事業特別会計は、平成29年6月に開設しました、児童精神科・小児整形外科医療施設および医療型障害児入所施設である県立子ども心身発達医療センターの運営を行うものです。

歳入といたしまして、

第1款 分担金及び負担金

予算現額	9,588万8,000円
調定額	1億684万255円
収入済額	1億684万255円

これは、主に措置入院に係る入院料などを収入したものです。

第2款 使用料及び手数料

予算現額	5億4,273万円
調定額	5億4,847万5,393円
収入済額	5億4,823万6,802円
収入未済額	23万8,591円

これは、入院料および外来診察料などを収入したものです。

また、収入未済額は、主に入院料で生じたものです。

第3款 繰入金

予算現額	10億2,786万7,000円
調定額	9億7,861万8,938円
収入済額	9億7,861万8,938円

これは、一般会計からの繰入金を収入したものです。

第4款 諸収入 (522頁)

予算現額	895万7,000円
調定額	1,173万6,317円
収入済額	1,173万6,317円

これは、併設特別支援学校にかかる施設管理業務負担金などを収入したものです。

第6款 国庫支出金

予算現額	1,336万5,000円
調定額	1,327万2,000円
収入済額	1,327万2,000円

これは、母子保健医療対策等総合支援事業費補助金などを収入したものです。

第7款 財産収入

予算現額	0円
調定額	91万6,272円
収入済額	91万6,272円

これは、自動販売機の設置料を収入したものです。

これらの歳入合計といたしまして、

予算現額	16億8,880万7,000円
調定額	16億5,985万9,175円
収入済額	16億5,962万584円
収入未済額	23万8,591円

次に、524頁の歳出につきましては、

予算現額	16億8,880万7,000円
支出済額	16億5,931万4,139円
不用額	2,949万2,861円

支出済額の内訳は次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
人件費	12億4,475万3,699円	職員給与費等
運営事業費	3億9,897万7,783円	管理運営費
医療支援事業費	1,558万2,657円	支援員人件費、CLM普及啓発費等

不用額の主なものは、運営事業費の実績減1,503万6,217円などによるものです。

これにより、実質収支額は528頁のとおり30万6,445円となり、この額を平成30年度へ繰り越しています。

以上をもちまして、平成29年度子ども・福祉部関係の歳入歳出決算の概要の説明を終わらせていただきます。

何とぞよろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。